

2024年1月29日

同時資料配布先:

学研都市記者クラブ

経済産業記者会

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

## 2023年度ALPS国際シンポジウム

—グリーン経済政策への主要先進国での取り組み動向と気候変動対策の展望—  
開催のご案内

RITEでは、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」(通称ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization)を実施しています。この研究事業では、グリーン成長に資する国際枠組み、国際戦略立案に資する研究を進めており、また長期の気候変動リスクにどう対応するか、について検討を行っています。カーボンニュートラル実現のためには、再生可能エネルギー、原子力、CO<sub>2</sub>回収貯留(CCS)、水素系エネルギー、そして大気中CO<sub>2</sub>回収技術(DAC)なども含め、様々な対策が必要です。また、様々な省エネは引き続き、重要な対策と考えられ、更にデジタルトランスフォーメーション(DX)によって誘発されるサーキュラー・シェアリングエコノミーなどは、エネルギー需要量を低減できる大きな社会変化の可能性を有しています。グリーントランスフォーメーション(GX)実現に向けて、このような様々な対策の貢献がどのように期待できるのかについて、定量的かつ包括的なシナリオ分析等を行っています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所(IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis)、米国の未来資源研究所(RFF: Resources for the Future)、国際エネルギー機関(IEA)をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進め、我が国の気候変動政策の立案、IPCCやCOPでの国際的な議論に貢献することを目的としています。

現在、世界では2050年カーボンニュートラルに向けた排出削減と経済成長・産業競争力強化を共に実現していくため、GXへの取り組みを加速させています。我が国においては、2023年2月に「GX実現に向けた基本方針」が、7月には「GX推進戦略」が閣議決定され、12月には「分野別投資戦略(案)」の予算額等もとりまとめられ、投資促進策の具体化に向けた方針が明らかにされています。世界各国においても、米国では22年8月に成立した「インフレ削減法(IRA)」にて、気候変動対策として国による約50兆円の予算が充てられ、EUでは23年2月発表の「グリーンディール産業計画等」により、官民で約140兆円の投資誘導を見込むなど、投資促進政策の動きが加速しております。

このようなGX実現に向けた取り組みの現状、実現への課題について焦点を当て、また本研究事業の成果報告会を兼ねて2023年度ALPS国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、欧米の著名な専門家による、世界のGX実現に向けた展望を様々な視点から紹介いただきます。最新の研究成果を皆様の取り組みへの参考にしていただけるよう多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

## 1. 開催概要

主 催： 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE)

共 催： 経済産業省

日 時： 2024年3月8日(金) 10:00-

会 場： 虎ノ門ヒルズフォーラム ホール B(4F) および WEB 配信

プログラム：

10:00	開会挨拶	山地 憲治 公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE) 理事長
10:05	挨拶	経済産業省 大臣官房審議官(環境問題担当)(予定)
10:15	趣旨説明	秋元 圭吾 RITE システム研究グループ リーダー
10:30	パネル討論	<p>『主要国における環境・エネルギー政策 (米:IRA、日:GX、EU:グリーンディールや CBAM)の動向について』</p> <p>モデレーター Dr. Nebojsa Nakicenovic, Former Tenured Professor of Energy Economics, Vienna University of Technology (TU Wien)</p> <p>パネリスト Dr. Robert Stavins, A.J. Meyer Professor of Energy &amp; Economic Development, Harvard University</p> <p>Dr. David Victor, Professor, UC San Diego</p> <p>Dr. Massimo Tavoni, Director, EIEE</p> <p>有馬 純 東京大学公共政策大学院 特任教授</p>
12:20	休憩	
13:20	講演	<p>『米国政策動向(仮)』</p> <p>上野 貴弘 一般財団法人電力中央研究所 社会経済研究所 研究推進マネージャー(サステナビリティ)・上席研究員</p>
14:10	講演	<p>『エネルギーセキュリティを踏まえた気候変動対策の状況(仮)』</p> <p>Dr. Nebojsa Nakicenovic, Former Tenured Professor of Energy Economics, Vienna University of Technology (TU Wien)</p>
15:00	講演	<p>『World Energy Outlook 2023 の概要(仮)』</p> <p>Dr. Stéphanie Bouckaert, Head of Demand Sectors Unit, World Energy Outlook, IEA</p>
15:50	講演	<p>『気候変動対策・政策のギャップの理解と今後の対策の展望』</p> <p>秋元 圭吾 RITE システム研究グループ グループリーダー</p>
16:40	閉会挨拶	本庄 孝志 RITE 専務理事
16:50	閉会	

## 2. 参加登録(参加費無料)

参加を希望される方は、以下 RITE ウェブサイトよりお申込みください。

<https://www.rite.or.jp/system/events/2024/01/alpsfy2023.html>

## 3. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方も、事前に参加申込み下さいますようお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参ください。

### 本件に関するお問合せ先

・シンポジウム内容・参加登録に関するお問合せ先

システム研究グループ 山田、斎藤

TEL:0774-75-2304 FAX:0774-75-2317

・広報に関するお問合わせ先

企画調査グループ 広報・産業連携チーム

TEL:0774-75-2301 FAX:0774-75-2314 E-mail: [pub\\_rite@rite.or.jp](mailto:pub_rite@rite.or.jp)

2023 年度 ALPS 国際シンポジウム

# グリーン経済政策への主要先進国での取り組み動向と気候変動対策の展望

2024 年 3 月 8 日 (金) 10:00 ~ 17:00

虎ノ門ヒルズフォーラム ホール B (4F) + オンライン配信

主催 : 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 共催 : 経済産業省

入場無料  
同時通訳あり

## ごあいさつ

RITE では、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」(通称 ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization) を実施しています。この研究事業では、グリーン成長に資する国際枠組み、国際戦略立案に資する研究を進めており、また長期の気候変動リスクにどう対応するか、について検討を行っています。カーボンニュートラル実現のためには、再生可能エネルギー、原子力、CO<sub>2</sub> 回収貯留 (CCS)、水素系エネルギー、そして大気中 CO<sub>2</sub> 回収技術 (DAC) なども含め、様々な対策が必要です。また、様々な省エネは引き続き、重要な対策と考えられ、更にデジタルトランスフォーメーション (DX) によって誘発されるサーキュラー・シェアリングエコノミーなどは、エネルギー需要量を低減できる大きな社会変化の可能性を有しています。グリーントランスフォーメーション (GX) 実現に向けて、このような様々な対策の貢献がどのように期待できるのかについて、定量的かつ包括的なシナリオ分析等を行っています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所 (IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis)、米国の未来資源研究所 (RFF: Resources for the Future)、国際エネルギー機関 (IEA) をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進め、我が国の気候変動政策の立案、IPCC や COP での国際的な議論に貢献することを目的としています。

現在、世界では 2050 年カーボンニュートラルに向けた排出削減と経済成長・産業競争力強化を共に実現していくため、GX への取り組みを加速させています。我が国においては、2023 年 2 月に「GX 実現に向けた基本方針」が、7 月には「GX 推進戦略」が閣議決定され、12 月には「分野別投資戦略 (案)」の予算額等もとりまとめられ、投資促進策の具体化に向けた方針が明らかにされています。世界各国においても、米国では 22 年 8 月に成立した「インフレ削減法 (IRA)」にて、気候変動対策として国による約 50 兆円の予算が充てられ、EU では 23 年 2 月発表の「グリーンディール産業計画等」により、官民で約 140 兆円の投資誘導を見込むなど、投資促進政策の動きが加速しております。

このような GX 実現に向けた取り組みの現状、実現への課題について焦点を当て、また本研究事業の成果報告会を兼ねて 2023 年度 ALPS 国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、欧米の著名な専門家による、世界の GX 実現に向けた展望を様々な視点から紹介いただきます。最新の研究成果を皆様の取り組みへの参考にしていただけるよう多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 (RITE) 理事長 山地 憲治

## お問い合わせ

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ

E-mail: [alpssympo@rite.or.jp](mailto:alpssympo@rite.or.jp) TEL: 0774-75-2304

## 会場

虎ノ門ヒルズフォーラム ホール B (4F)

〒105-6305 東京都港区虎ノ門 1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー 4 階

日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」B1 出口、A1b 出口

銀座線「虎ノ門駅」B1 出口、B4 出口 (2 階デッキ経由)



会場アクセス QR コード

## プログラム

10:00	開会挨拶	山地 憲治 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 (RITE) 理事長
10:05	挨拶	経済産業省 大臣官房審議官 (環境問題担当) (予定)
10:15	趣旨説明	秋元 圭吾 RITE システム研究グループ グループリーダー
10:30	パネル討論	『主要国における環境・エネルギー政策 (米:IRA、日:GX、EU:グリーンディールやCBAM)の動向について』 モデレーター Dr. Nebojsa Nakicenovic, Former Tenured Professor of Energy Economics, Vienna University パネリスト Dr. Robert Stavins, A.J. Meyer Professor of Energy & Economic Development, Harvard University Dr. David Victor, Professor, UC San Diego Dr. Massimo Tavoni, Director, EIEE 有馬 純 東京大学公共政策大学院 特任教授
12:20	休憩	
13:20	講演	『米国政策動向 (仮)』 上野 貴弘 一般財団法人電力中央研究所 社会経済研究所 研究推進マネージャー (サステナビリティ)・上席研究員
14:10	講演	『エネルギーセキュリティを踏まえた気候変動対策の状況 (仮)』 Dr. Nebojsa Nakicenovic, Former Tenured Professor of Energy Economics, Vienna University
15:00	講演	『World Energy Outlook 2023 の概要 (仮)』 Dr. Stéphanie Bouckaert, Head of Demand Sectors Unit, World Energy Outlook, IEA
15:50	講演	『気候変動対策・政策のギャップの理解と今後の対策の展望』 秋元 圭吾 RITE システム研究グループ グループリーダー
16:40	閉会挨拶	本庄 孝志 RITE 専務理事
16:50	閉会	

※当日、会場での講演資料の配布はございません。WEB上で随時公開しますのでご覧ください。

## お申込

**申込締切 3月1日(金)**

お申込み先: <https://www.rite.or.jp/system/events/2024/01/alpsfy2023.html>

お問合せ先: [alpssympo@rite.or.jp](mailto:alpssympo@rite.or.jp)



お申込み用 QR コード

※ご提供いただいた個人情報は、今後当機構の関係するイベント等のご案内のために利用させていただきます。